

全酪連会報 12

2019 DEC No.651

若手後継者の本音／星野紘希さん

第27回 ロイヤル・ウィンターフェア視察と米国・カナダ酪農視察研修

酪農業に対する理解醸成活動報告 前編

酪農部だより／令和元年度 製造技術体験発表会・研修会が開催されました!

日本酪農見て歩紀／前川正樹牧場 香川県三豊市

酪農トピックス／北海道酪農青年女性会議
秋晴れの日 幼稚園訪問と牧場視察(札幌)ほか



www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/



全国酪農業協同組合連合会

葛巻町は「北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーの町」をキャッチフレーズとする、岩手県北部に位置する酪農地帯です。預託牧場でご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか？また、町内の牧場 農場を活用したグリーンツーリズムやバイオガス発電・風力発電といったクリーンエネルギーを推進しており、それを利用して生産された「くずまきワイン」は県内外で広く愛飲されています。



星野 紘希さん

今回は、岩手県岩手郡葛巻町 星野牧場の後継者 星野 紘希さんにお話を伺いました。

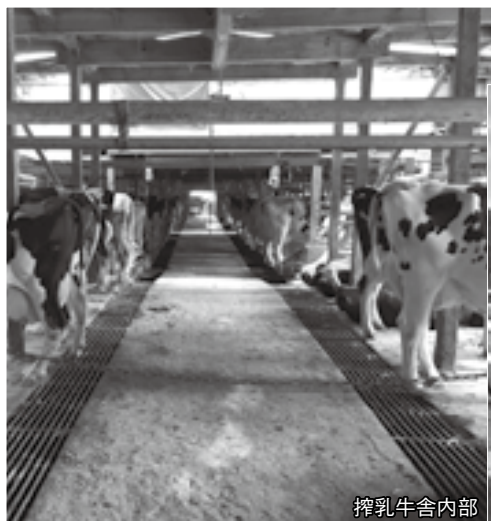
就農までの経緯を教えてください

長男としていずれ将来は酪農後継者となることを意識して育ってきました。中学卒業後は盛岡農業高校（盛岡市）へ進学。その後、岩手県農業大学校（金ケ崎町）へ。畜産・酪農に関する勉強を5年間積んで、今から2年前の20歳の時に就農しました。

就農してみて感じること

酪農場はその経営体によってさまざまなスタイルがあることを改めて感じています。長期的なビジョンで考えると大変ですし、楽天的には考えられない時もあります。それでもやはり、自分が責任をもって任されている仕事が良い成果（乳量、繁殖成績、分娩管理や圃場作業など）に繋がったときに歓びとやりがいを感じます。同時に酪農経営の醍醐味を肌で受けながら日々の作業に取り組んでいます。

また、周囲の人たちに恵まれたのが幸運であり、ありがたみを感じて酪農を続けています。若くとも実力のある人たちが大勢いるというのも非常に刺激を貰えています。青年部の他、「カウボーイズ」（主に葛巻町内の若手酪農後継者・経営者19名で構成）というグループにも所属しています。情報共有だけでなく、あ



搾乳牛舎内部



繋留施設と山間の風景

酪農に対する思いは

たたかい応援や優しき、困ったときにはお互いに支えあえる関係など非常にありがたいです。

産業の特質上大きな資金が動き、場合によっては借金をしながらの経営も前提となることも

若手後継者の 本音

Vol.41



さあ草地へ出勤



デントコーンロールバックサイレージ



最近生まれた和牛と

【経営概況】

所 属 新岩手農業協同組合(小野寺敬作代表理事組合長)

家族構成 紘希さん、両親、祖父母

飼養頭数 経産牛:60頭、育成牛:30頭、繁殖和牛:10頭

経営継承・繁栄へ一歩ずつ！ 周囲への感謝をもって 経営していきたい

あるので、不安もあります。1000年単位で経営をイメージするとなおさらです。葛巻町は行政としても酪農業を支援・応援してくれているという点でも感謝とともにやる気につながっています。しかし将来、仮に努力だけではいかんともしたい苦境に立たされた場合、国はどのような政策を考えるのか期待する部分もあります。

とはいえ、職人気質で多種多様な技能が求められることがこの仕事の最大の魅力でもあると思います。他の職業への憧れを抱いていた時もありましたが、根底にあるウシが好き、という思いが今の仕事につながっているかと。

今後の酪農経営の展望・目標

大学校時代、父親に和牛繁殖経営・スモール販売に対する興味関心や想いを進言したこと

で、現在の経営形態に至っています。今後このスタイルは維持していきますが、あくまで経営の基本は生乳生産。着実に維持継続・増頭増産をしていきたいです。

一方、現在はまだ父親が経営者。私は労働のみという形です。将来的には酪農経営者(社長業)として会計・資金繰りなども含めた農場経営ができるよう、一歩ずつ準備をしながら最小限のリスクで経営を継承・繁栄させていきたいと考えています。

●インタビューからひとこと

すっかりとした将来ビジョンを思い描きながら日々の仕事に取り組んでいる紘希さん。仕事ばかりでなく、お父様とご自身での庭園づくりやバイク新車購入に向けての下準備など、楽しみを持ちながら仕事をしているところも魅力です。近い将来、頼もしい酪農経営者のひとりとなると感じました。応援します！

全国の若手後継者の皆さんへ一言！

周りの応援してくれる人たちを大切に！
困ったときはお互いさま。我が家は東日本大震災のときに痛感しました。
お互いに理解者となれるように日々頑張りましょう。



ロイヤル・ウィンターフェア視察と 米国・カナダ酪農視察研修



令和元年11月6日(水)から12日(火)までの7日間、(一社)全国酪農協会主催の「第27回ロイヤル・ウィンターフェア視察と米国・カナダ酪農視察研修」が開催されました。今年の視察参加者は、第48回全国酪農青年女性酪農発表大会の発表者3名を含む総勢17名。成田空港での団結式を終え、研修1日目はシカゴ空港を経由し約13時間のフライトを経て、カナダ・オンタリオ州トロント市に到着しました。



11月6日(水) 日本(成田)からカナダへ

16時45分成田空港第1ターミナルに集合。集まったところで団結式を行いました。全国酪農協会三国貢常務理事より主催挨拶を頂いた後、関係機関より事務連絡などを行いました。この度の視察において団長を務めるのは全国酪農協会理事で埼玉県酪農協会の高田茂会長が就任することとなりました。

飛行機は無事、成田を出発約11時間40分のフライトで米国シカゴに到着。シカゴではトランジットのため直ぐにカナダ・トロントに向けて出発、現地時刻で20時40分(日本との時差はマイナス14時間)に無事到着!!

やはり旅にはアクシデントは付き物?参加者の1人の受託手荷物品のバッグ持ち手部分が途中で無残にも破損しました。しかしながら添乗員のフォローで何とか代替品を用意して事なきを得ました。ホテルに到着したのは現地時刻で23時を回っていました。この日は各自、配られたお弁当を片手に部屋で食事をする事に。初日は無事終了しました。

●行程表

11月 6日(水)	成田空港からシカゴで乗り継ぎ、カナダ(トロント)へ
11月 7日(木)	ナイアガラの観光 サミット・ホルム牧場視察
11月 8日(金)	ロイヤル・ウィンターフェア2019視察 CNタワー観光
11月 9日(土)	空路、米国(サンフランシスコ)へ
11月10日(日)	ヒルマー・チーズ工場視察
11月11日(月)	空路、サンフランシスコから日本(羽田空港)へ
11月12日(火)	帰国後、解散



▲ 無事、トロントへ到着!

◀ バッグの取っ手が壊れてしまった!

ナイアガラ観光

初雪が舞う中、2日目はスタート。街は一面の銀世界。外気温は2度、体感温度マイナス2度というトロントの冬を直に味わいながらバスは一路、ナイアガラフォールズに向かいました。『ナイアガラ』という名前は先住人の言葉が語源となっているそうです。

ナイアガラ川は滝直前の島で二分されてそのまま滝に流れ落ちます。西側のカナダ滝は落差約54m、幅約675m、東側のアメリカ滝は落差約56m、幅約320mです。

現在、水量は滝の保全のため、水門で調整を行っているそうです。そのお陰で、一年間で約3cm川底が削られるだけで済んでいるとの事です。

滝壺に接近するナイアガラクルーズに乗船。乗船前に渡された使い捨てのレインコートを着用していても、流れ落ちる水しぶきと吹雪の中では意味を成さないくらいに全身水浸しになりました。

クルーズの後にはナイアガラフォールズを一望できるレストランでの昼食。様々な食事に舌鼓をうちながら、壮大な景色を楽しみました。

▼ 初雪 トロント市内はすっかり雪景色

▲ ナイアガラフォールズ
この日は吹雪で凍える寒さでした

サミット・ホルム牧場訪問

1938年にチェコ共和国より移民し、1947年にサミット・ホルム牧場を開設。能力・体型の両方を追及した経営は成功しないとの考え方から能力指向型（1. 能力 2. 長命性）で経営。

【経営概要】

・所有者…ローディブ家のカール氏と兄弟、カール氏の息子ベン氏

- ・飼養頭数…経産牛559頭、未經産牛も合せると1,000頭以上
- ・平均分娩間隔…12・7か月
- ・搾乳回数…平均3回搾乳
- ・1頭あたりの生乳生産量…13,461kg（305日補正乳量）
- ・1頭あたりの生乳算出金額…9,698C\$（305日補正総売上）
- ・日本円で約814,632円

・社員構成…正社員が5名の他にフリーピン、インドからの研修生を受け入れています。

またドイツから交換留学生も受け入れています。

今回案内していただいたのは経営者のカール氏。彼はすぐく視察受入に慣れており、この日は地元カナダの別の視察団も受け入れていました。気さくな人物でいろいろな質問に対して屈託なく答えてくれました。

パーラー、フリーストール牛舎、哺育ハッチ、育成舎と案内されました。1日3回搾乳、生乳生産に専念することを方針としているそうです。カナダ全土でクォーター制度が決められており、3か月続いて生乳計画生産量が下回ると割当数量が減らされるとの事です。また逆にオーバーした分は子牛の哺乳用に回して

いるとのこと。そのため全体の需給バランスに応じ、また制度に即して即座に対応出来る様にロボットは導入していません。

長命連産を主として、年齢を重ねた牛を更新するという考え方ではなく、遺伝的改良には力を入れており、分娩した子牛の下から30%は更新せずに販売などに回しているそうです。

飼料については、ヘイレージ、ウィー

▲ ストールに使う敷料
近くで採取した砂を使用しています

▲ 牛舎の中も視察させて頂きました



▲ カール氏を囲んで

トストロー、コーンサイレージを主に
とうもろこし子実、綿実、大豆粕など
ステージに合わせて供給しています。

また、ベン氏は、カナダ特有の問題
として、良い人材を確保するにはいま
での農場は規模が小さく、また周りの
農家では週70時間の長時間労働、低
賃金、休みもなく、酪農のイメージ
が良くないそうです。そこでベン氏は
週65時間・長期休暇は2週間・毎月
1日の休みを労働条件としているそ
うです。長年務めているパートさんは
15か月間、管理する子牛の死亡が無
いという成果を挙げているそうです。

11月8日(金)

The Royal Agricultural Winter Fair (ロイヤル・ウィンターフェア2016)視察

この研修旅行での最大のイベン
ト。ロイヤル・ウィンターフェア！
世界最大の農畜産物の品評会におい
て室内で行われる共進会では世界最
大級のことです。今年は11月1日
〜10日まで開催され、北米全域から
集められた様々な農産物の展示・品
評会、競売が行われます。

メインの催しは毎年恒例のホース
ショーで様々な品種の馬の共進会が

行われ、カナダ全域に放映されるほ
ど人気を博しています。それ以外に
羊、豚、鳥、兎など小動物のイベン
トも行われています。その中で馬に
次いで出品頭数が多いホルスタイン
種の共進会のみ馬以外では唯一メー
ン会場で行われます。

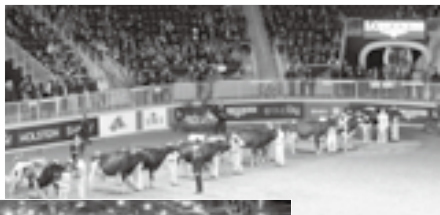
今回の出品頭数は牛全体で約
400頭が出品されているとのこと
です。メイン会場でナショナル・ホ
ルスタイン・ショーが行われる日に
合わせて視察を行いました。

東京ドーム17個分という会場内
には酪農関連以外
に食料品、化粧
品、衣類、車、ト
ラクターなど様々
なブースが並び、
子供向けアトラク
ション、フードコー
トなど日本で考え
るような共進会では
なく一般的な展示
会です。

共進会が行われ
るメイン会場は普
段はアイスホッケー
場として利用されて
いるため、観戦用

▼ 外国人招待客専用入口
一般だと27.5C\$の入場料
となります

▼ Champion Bred & Owned



◀ メイン会場



▲ 待機場 一般の方も自由に入れます



▲ 周りには様々なブースが並んでいます
ローヤルオフィシャルグッズブースも
ありました

の大きなTVモニターが釣り下がりと
の角度から見えるように画面に映
されていました。今回の共進会はアメ
リカチャンピオンなどトップクラスの
牛が多数出品されていました。因み
に出品の条件はカナダホルスタイン協
会の会員で牛を登録していれば誰でも
出品できるとのことです。

共進会の最後を飾るグランドチャ
ンピオンの審査では、会場の照明が
落とされスポットライトとBGMで
会場の雰囲気が一気に高鳴り、手拍
子喝采と歓声もあがり、審査委員長

が並んでいる牛、一頭一頭に近づい
たり離れたりと揺さぶりをかけて期
待が膨らんだ瞬間に最終ジャッジが
行われました。グランドチャンピオ
ン受賞者と強く抱き合い、会場は拍
手と大きな歓声に包まれました。

11月9日(土)

トロントからサンフランシスコへ

初雪が降った日に比べて気温は若
干暖かく感じました。それでも気温
はマイナスの世界。トロント空港から
次の目的地サンフランシスコへ向けて
大きく西へ移動となります。

カナダからアメリカへはアメリカ
国内便と同じ扱いを受けており、ト
ロント空港で入国審査を行うそうで
す。24時間空港ということもあり、
多くの乗客で検査場は混み合ってい
ました。約6時間のフライトでサン
フランシスコに到着したのは現地時
間9時30分。時差はトロントからマ
イナス3時間。つまり3時間しか
経っていない計算になります。日本
では標準時が一つに統一されている
が、北米大陸は東西に広いため標準
時を幾つも採用しています。

気温は10℃近く。トロント比べれ
ば何と暖かいことでしょう！一行は

空港からバスでゴールデンゲートブリッジ（金門橋）に向かいました。この時期には珍しくお昼前でしたが濃霧で全く見ることが出来ず、期待していた霧の中に佇む幻想的な姿は見ることは出来ませんでした。その後、フィッシャーマンズワフ（漁師の港）へ向かいました。ピア39のシヨッピングセンター内で有名なクラムチャウダーとカニが昼食。ここでは野生のアシカの群れを間近で見ることが出来ます。また街は土曜日ということもあり大勢の観光客で賑わっていました。

ホテルに到着後、アメリカの酪農情勢についての研修会が開催されました。最初に全酪連サンフランシスコ事務所生野所長より米国酪農事情について、続いて、稲葉職員より北米産乾牧草市場の動向についてそれぞれ講義を頂きました。

参加した一行は熱心に講義に耳を傾けて様々な質問が出されました。



▲ ツイン・ピークスにて

▼ 金門橋をバックに記念撮影 霧で何も見えませんが…



▲ ZT生野所長による講義風景

11月10日(日) ヒルマー・チーズ工場

1984年に12人の酪農家により創設された世界最大のチーズ工場です。ヒルマー・チーズの歴史はここから始まります。以前は工場内部の見学が出来ましたが、現在はバイオセキュリティーなど衛生管理の面から工場内部への見学は行いません。今は1998年に開設したビジターセンタールの2階から工場内部の見学が出来るようになっています。

まずは工場のガイドに従い、バスの車内から工場外部の見学を行いました。工場は日本の乳業工場と同じく生乳の受入条件など厳しく管理しています。工場に生乳を搬入しているトラッ

ク（集乳車）は酪農家自身が手配して持ち込んでいます。集乳タンクには冷蔵装置などは付いておらず、魔法瓶と同じ原理で保冷機能しかありません。大部分の生産者は配送時間が2時間圏内であるためその点は問題ないとの事です。工場側はあくまで持込が条件で一切その部分については生産者責任という事です。そのため出荷する酪農家は自身で温度管理などを行い出荷しています。

その酪農家の生乳が1日平均200台のタンカーで運ばれて来たり、タンカー1台（容量：6,000ガロン約22,710ℓ）につき、約8分で生乳の抜き取りが可能であり、6インチパイプを利用する事で、効率良く作業が行えているとの事です。

サンプル検査においては生乳中の成分、既定温度、抗生物質の有無など全てにおいて合格しているか検査を行っています。生乳の取引基準の1つに乳脂肪があり、乳脂肪が基準値以上であればプレミアム乳価が適用されます。仮に生乳が定められた基準に達しない場合、一滴も工場に納入されることはないシステムですが、その生乳は廃棄せず、牛たちの飼料として還元し再利用しているそうです。

ラボは5つあり、ホエイ（乳清）、ミルク等の検査をしており業界では最もクリーンな製品を製造していると評価されている工場です。

現在、カリフォルニア州ヒルマー（Hilmar）工場、テキサス州ダルハート（Dalhart）工場そしてカリフォルニア州ターロック（Turlock）工場の3工場を有します。従業員は1,519名（2018年）。

主にモントレイジャック、コルビージャック、チェダーチーズが製造されていますが、その他ヨーロップ系のチーズまで幅広く製造しています。工場は製造が主な仕事であるため、製品原料という意味で製造品は2週間保管した後、各業者へ降ろされます。熟成チーズなどは購入した各業者が行うとの事です。

7つのミルクサイロがあり、約7日間分、160万ポンド（約730t）のチーズを生産できる原料を保存しておける冷蔵倉庫を完備。工場内にはコストコに出荷する専用の乾燥倉庫も完備しています。

ヒルマー工場、ターロック工場ではチーズを製造する過程で発生するホエイから乳タンパク、乳糖を取り出した後に残る水を再利用していま

ショップ内は
クリスマス色



▼ ビジターセンター内での工場説明風景



◀ ヒルマー工場外観



す。専用の装置で処理された処理水は先ずは工場内の機械、トラックなどの洗浄に使用されます。

使用済み洗浄水はその後バイオガス発電施設で再度、水再生を行い工場の緑地への散水、飲用以外部分での利用、そして圃場への水資源として用水路へ放水する事となります。最終的には酪農家の搾乳牛への口に入る飼料などに還元されるというシステムです。

ビジターセンター1階はアンテナ

ショップでチーズ以外にも牛のぬいぐるみ、ジャムなど陳列していました。ちょうど訪問した時期はクリスマス商戦！ショップ内はクリスマス一色で華やかでした。

サンフランシスコ市内観光 (自由行動)

ヒルマー工場からホテルに戻ってきた一行は一旦解散後、各自市内観光に出掛けました。折角の機会なので中心部であるユニオンスクエアなど市内観光を満喫する事としました。

その場所を感じるのには徒歩が一番。自分の足で歩くこと。先ずはユニオンスクエアに向かいました。サンフランシスコには44の丘があるそうです。確かに言われた通り市内はアップダウンが激しいです。然しこれが誰もが思い描く坂道が似合う美しい町並みと感じさせます。そんな街の中心部では人々を乗せたケーブルカーが汽笛を鳴らしながら走り去り、その脇を多くの人、車が行き交う。まるで映画のワンシーンに自分が溶け込んだような錯覚に陥る非日常的な感覚が身を包み込みます！でも実際には幻想的な世界とは別



▲ サンフランシスコ市内を走るケーブルカー

ユニオンスクエアはすっかりクリスマスモード ▶

に現実の世界もそこにはありません。ホームレスがこの街には異常に多いのです。気候が温暖なこともさることながら、カリフォルニア州の政策でホームレス対策が手厚いそうです。しかしながら我々が考えるホームレスとは違い本当の意味でのホームレス？だけではなく、自らの世界（規律社会）に縛られるのを嫌う人々が集まっているそうです。色々な人生がそこにはあります。街のいたる所から英語、フランス語、スペイン語、中国語そして日本語など多種多様な言語が街の雑踏に混じってBGMの如く聴こえて来ます。だからこそ世界中の人々が魅了されるのであらうと感じました。

11月11日(月)～12日(火)
移動：サンフランシスコ
(機中泊) ～羽田着

天気は快晴！サンフランシスコでの別れを惜しみつつ出国手続きを行ないました。これからまた11時間以上かけ日付変更線を越えて帰路につきます。羽田に無事到着！体の節々が痛い…。時間は午後3時。気持ちを切り替えて。空港にて流れ解散ではありませんが、参加した皆さんとは短い7日間を共に過ごした酪友です。別れが惜しく、到着後もロビーで思い思いの別れをそして再会を誓い解散しました。また皆で会いましょう！

最後に

業務による同行の立場とはいえ、日常業務（勿論これも業務の一環ですよ!!）、日常生活から開放！すぐくりフレッシュ出来ました。またこのツアーで参加者の皆様との出会えたことは私にとって宝です。

このような行事に参加する機会を与えて頂いた全酪連、酪青女関係者の皆様そして全国酪農協会の皆様にこの場を借りて心より感謝申し上げます。

(名古屋支所 炬口浩司)

酪農業に対する 理解醸成活動報告

前編

全酪連では、酪農業に対する理解醸成活動として、酪農家戸数が減少しているに伴い生乳生産量が減少し、このままでは国産牛乳・乳製品が無くなるかもしれないことを消費者の方に訴え、「牛乳を飲んで応援していただく」べく、全国酪農青年女性会議に協力いただきながら、コットンランチバッグ・チラシを配布しPR活動を行いました。10月25日(金)に千葉県市川市「ニッケコルトンプラザ」タワーコートにて行った活動に前後して、全国各地で順次活動を行いましたので、その活動内容を抜粋してご報告いたします。ご協力いただいた関係者に深く御礼申し上げます。



札幌 支所管内



「いわみざわ農協青年部 第1回情熱直送便」
岩見沢駅東広場(北海道岩見沢市)
開催日:10月12日(土)
参加者:北海道酪農青年女性会議(家族)1名 他



「子どもたちと牛乳クイズ」
のっぽろ幼稚園(北海道江別市)
開催日:10月24日(木)
参加者:北海道酪農青年女性会議 5名



「マオイの丘 農産物直売所大感謝祭」
マオイの丘公園 農産物直売所(北海道夕張郡)
開催日:11月3日(日)
参加者:北海道酪農青年女性会議 3名

仙台 支所管内

「かづの畜産まつり」
鹿角家畜市場(秋田県鹿角市)
開催日:10月20日(日)
参加者:あきた北部酪農
青年婦人会議 14名



「みやぎまるごとフェスティバル」
勾当台公園(宮城県仙台市)
開催日:10月19日(土)~20日(日)
参加者:東北酪農青年女性会議
13名



「ふるさと渋谷
フェスティバル2019」
代々木公園
(東京都渋谷区)
開催日:11月2日(土)
~3日(日)
参加者:東北酪農青年女性会議
14名



「花巻市歯科保健大会」
花巻市文化会館
(岩手県花巻市)
開催日:11月9日(土)
参加者:岩中酪農青年女性会議
7名

福島県小学校や幼稚園で「も〜も〜スクール」開催

杉妻幼稚園(福島県福島市)
開催日:10月24日(木)
参加者:福島県酪農青年研究連盟 14名

川谷小学校(福島県西郷村)
開催日:10月27日(日)
参加者:川谷地区酪農家・西郷たんけん隊 約25名

古殿小学校(福島県古殿町)
開催日:10月31日(木)
参加者:福島県酪農青年研究連盟 19名



東京 支所管内



「第46回寄居町産業文化祭」

寄居町立総合体育館・アタゴ記念館および特設会場 (埼玉県大里郡)

開催日: 11月9日(土)～10日(日)

参加者: 埼玉酪農業協同組合 他 15名



▲ かわいい!!
コットンランチバック貰ったよ ▲ 美味しい牛乳毎日飲んでもよ



▲ 牛乳で毎日元気でがんばってます

「第14回深谷市産業祭」

中山道沿線の商店街及び駅道通り (埼玉県深谷市)

開催日: 11月9日(土)～10日(日)

参加者: 深谷市酪農振興会 他 17名



「あがのわくわく産業フェア2019」 サントピアワールド

(新潟県阿賀野市)

開催日: 11月4日(月)

参加者: 阿賀野市ドリームプロジェクト
阿賀野市商工振興協議会 他
400～500名

名古屋 支所管内



▲ 会場

「JA松任農業祭」

JA松任本店

(石川県白山市)

開催日: 10月19日(土)

参加者: 石川県酪農業協同組合
他 16名



▲ チラシ



▲ 理解醸成



▲ 試飲



▲ チラシ

「河北潟ふれあいフェスタ2019」

河北潟営農公社 (石川県河北郡)

開催日: 11月3日(日)

参加者: 石川県酪農業協同組合 他 17名



「ひろしまフードフェスティバル2019」

広島城趾公園内 (広島県広島市)

開催日: 10月26日(土)～27日(日)

参加者: 広酪メンバーズクラブ 15名

「どうおんファミリーフェスティバル」

東温市ふるさと交流館 (愛媛県東温市)

開催日: 11月10日(日)

参加者: 愛媛県酪農経営者協議会 10名



「第37回らくのうひょうごフェスティバル」

淡路家畜市場内 特設会場 (兵庫県淡路市)

開催日: 10月26日(土)

参加者: 兵庫県酪農協女性部 18名

「MILK・JAPAN in 山口」

山口県児童センター (山口県山口市)

開催日: 11月23日(土)

参加者: 山口県酪農青年女性会議 19名



「おかやまミルクフェア2019」

浦安総合公園 (岡山県岡山市)

開催日: 11月23日(土)

参加者: おかやま酪農協青年部・女性部 10名

福岡 支所管内



「九州酪農青年女性会議 令和元年度理解醸成活動」

博多駅博多口路上周辺(福岡県福岡市)

開催日:10月10日(木)

参加者:九州酪農青年女性会議 他 25名



「2019佐賀インターナショナルバルーンフェスタ 第40回記念大会」

嘉瀬川河川敷(佐賀県佐賀市)

開催日:10月31日(木)

参加者:佐賀県酪農婦人部連絡協議会 他 12名



「第34回 ななせの里まつり」

みどりの王国(大分県酪・九州乳業敷地内)(大分県大分市)

開催日:11月3日(日)

参加者:大分県酪農青年女性会議 他 13名



「大分県農林水産祭 畜産フェスタ2019」

別府公園(大分県別府市)

開催日:10月26日(土)～27日(日)

参加者:大分県酪農青年女性会議 他 41名

「TKUの日2019」

熊本市中心市街地

(熊本県熊本市)

開催日:10月19日(土)～20日(日)

参加者:九州生乳販売 農業協同組合連合会

熊本県酪農業協同組合連合会 他 4名



▼ 阿蘇ミルク牧場



▼ 熊本県酪連熊本工場



▲ 体験発表会

本年度は10月17日・18日に、熊本県熊本市にて開催されました。参加者・関係者は17団体から総勢70名と多数の参加がございました。17日に「ザ・ニューホテル熊本」にて体験発表会が行われ、18日は熊本県酪連熊本工場、阿蘇ミルク牧場などを視察しました。

製造技術体験発表会では6会員による発表が行われ、大山乳業農業協同組合の「クリーム・粉乳ライン ロス改善」が最優秀賞を受賞されました。本会狭山工場も健闘し、「シュレッドチーズラインの防虫対策」を発表した結果、優秀賞を受賞いたしました！



▲ 表彰場面
大山乳業農業協同組合

▼ 表彰場面
全国酪農業協同組合連合会
狭山工場



本会狭山工場が優秀賞を受賞！

令和元年度
製造技術体験発表会・研修会が
開催されました！

賞	会員名	チーム名	テーマ
最優秀賞	大山乳業農業協同組合	ドリームカムトゥルー	クリーム・粉乳ライン ロス改善
優秀賞	全国酪農業協同組合連合会	狭山工場 5S 推進委員会	シュレッドチーズラインの防虫対策
優秀賞	熊本県酪農業協同組合連合会	フリーダイヤル活用塾	お申し出対応マニュアル活用によるお客様対応の向上
優良賞	よつ葉乳業株式会社	オホーツク北見工場	当たり前改革で洗浄時間短縮
優良賞	やまぐち県酪乳業株式会社	やまぐち	ピンホール検査
優良賞	南日本酪農協同株式会社	チーム鹿屋 G&S	5S 活用による業務スリム化推進

製造技術体験発表会・研修会は、「全国農協乳業協会」主催の、同団体会員が発表等を通して、相互の連携によって技術力の養成、品質管理の強化及び会員間の情報交換を図り、技術体系の確立と技術水準の向上に資することを目的としたものです。今年で40回目にも及ぶ、非常に歴史のある発表会です。

本会狭山工場は、これからも同様の活動を通して、技術体系の確立と技術水準の向上を図り、高い品質を備えた製品を確実に提供し、酪農生産者と消費生活者の満足を得られるように努めて参ります。

今後とも変わらぬご愛顧を、何卒よろしくお願い申し上げます！



◀◀ 狭山製品

見て歩紀

No. 319

前川正樹牧場
香川県三豊市

我家も組合も『ONE TEAM』で
仲良く、楽しく、1年でも長く酪農経営を



香川県三豊市

地域の紹介

前川牧場がある香川県は、47都道府県の中で一番面積が小さい県ですが、観光名所や美味しいものがたくさんあります。観光で有名なところは「二十四の瞳」の舞台

ガスも香川県オリジナル品種の「さぬきのめざめ」があり、農業も盛んな県です。そして香川県といえばうどんです。県内には多くのうどん屋さんがあり、インパクトがあるのは「元祖しゅううどん（小縣屋）」でこ

にもなっている小豆島や先月国の名勝に指定された日本最大の灌漑用ため池である「満濃池」があります。また最近インスタ等で話題になっている父母ヶ浜^{ちちぶがはま}も近くにあり、日本版のウユニ塩湖のように海が鏡のように反射して綺麗な景色を一望することができます。

特産物も色々あり、にんじくは生産量全国2位です。他には三豊市で作られている「三豊なす」は通常の茄子の3倍の大きさです。アスパラ



▲ 牛舎全景

▲ 前川正樹さん





▲ 牛舎内

こは注文すると丸々大根が出てきて自分で好みの量をすりおろせることで有名です。

前川牧場が所属する香川県西讃酪農農業協同組合は組合員数19戸、平成30年度の生乳生産数量は1,702tと、小規模酪農協ですが、その分皆仲が良く家族のよう

に接しています。前川正樹さんは平成28年より当組合の組合長という要職に就かれています。

牧場の沿革 (始まりから現在まで)

前川牧場の歴史は、祖父の正美まさよしさんが酪農を始め、正樹さんが3代目となります。今から7年前にお父さんから世代交代され、現在「楽酪事業」を活用して、牛舎内の改造に取り組みられています。

組合長である正樹さんは、小規模酪農協は小規模酪農協としての特長を生かし組合員に何ができるのか、何をしないといけないのかを考え組合運営に携わっています。一方では酪農以外でも役員をされるなど多種多様な活動をされ地域に必要とされている方です。

また、繁殖和牛も飼育され、生まれてきた



▲ 牛舎内

子牛を8か月飼育し、家畜市場に出荷しています。

就農時期

もともと正樹さんは30歳くらいを目途に酪農を始めようと考えていましたが、当時働いていた会社が27歳のときに倒産したのをきっかけに、牧場に入りお父さんの手伝いから酪農を始めました。何年か牧場の仕事に従事してから30代半ばに色々な人と関わりを始めてから自分でも「もつとこうしたい!」という思いが強くなったそうです。

牧場の概要

① 家族構成と作業の内容

前川牧場は、本人の正樹さん、奥さんの望さん、お父さんの弘さん、お母さんの孝子さんの4人構成で、正樹さんと望さんが搾乳、飼料給与等の作業全般を担当し、弘さんと孝子さんは自給飼料と堆肥処理全般を担当されています。

② 飼養頭数

現在の飼養頭数は、経産牛25頭、未経産牛5頭、育成牛4頭を飼養し、うち現在6頭を北海道に預託



▲ 搾乳処理室

しています。平成30年度の前川牧場の生乳生産量は262tとなっています。

また、繁殖和牛の現在の飼養頭数は、親16頭、育成2頭です。

③ 自給飼料生産

お父さんの弘さんとお母さんの孝子さんが主な担当となっている自給飼料は、作付面積が約1haで、イタリアンライグラスや飼料イネを作付しサイレージとして給与しています。

④ 飼料給与と体系

飼料給与は分離給与で、1日に配合飼料と粗飼料をそれぞれ4回給与しています。乳量30kgの給与メニューは次のとおりです。

【給与メニュー】

配合飼料12kg、ビートパルプ1kg、アルファルファ2kg、クレイニンググラス7kg
オーツヘイ4kg、イタリアンライグラスサイレージ（自給粗飼料）5kg

今後の目標と夢

① 組合運営（役員、共進会、共同作業など）

組合運営をしていくうえで、親睦を深め情報を交換できる親睦会を設け、何か問題があったときは組合一丸となって問題を解決できるように「ONE TEAM」で取り組んでいます。また、青年部活動に積極的に参加し、他の県の方とも交流を深めています。今後とも、青年部活動等他県の酪農家と積極的に交流を深めつつ、「ONE TEAM」で1年でも長く組合を存続していきたいと考えておられます。

② 前川牧場

現在の飼養頭数は25頭ですが、酪農事業をきっかけに自動給餌機を設置することから頭数を34頭まで増やしていこうと考えています。現在はまだ工事中ですが、来年度初めには本格的に自動給餌機とミルカーと専用ソフトとをリンクさせ、健康管理と乳量の増加を目指されています。

また、この酪農事業をもとに今の作業を少しでも軽減させるとともに、牛たちを丁寧に管理し、長



▲ 記念碑

命連産の牛群づくりを目指していきます。また、作業が軽減される中で家族の時間も大切にしていきたいと考えています。そして、残念ながら後継者はいませんが1年でも長く酪農を続けていきたいと考えておられます。

取材を終えて

今回取材をした中で、生乳生産戸数は7戸と多くはないですが、これほど組合員同士の仲が良い組合は他になく、家族組合と言っても過言ではないと感じました。農家の高齢化は全国で生じており、ここ香川県も同じことが言えますが、1日でも長く続けてほしいと思いました。

（T・T）

原稿募集

「酪農トピックス」では皆様からの記事を募集しております

共進会、B & W、酪農祭り、親睦スポーツ大会といった催事情報から組合住所の変更や移転等案内情報、そして直営店情報や組合の自慢情報まで、酪農トピックスでは会員の皆様からの原稿を募集しております。本コーナーは会員の皆様の情報交換の場です。ぜひご活用ください。

送付先 皆様のお近くにありますが本会支所までご送付・ご連絡ください。

■札幌支所

〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1 酪農センター5階
tel. 011-241-0765

■仙台支所

〒980-0021
仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3階
tel. 022-221-5381

■東京支所

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館4階
tel. 03-5931-8011

■名古屋支所

〒460-0008
名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3階
tel. 052-209-5611

■大阪支所

〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル6階
tel. 06-6305-4196

■福岡支所

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7階
tel. 092-431-8111

札幌支所発

北海道酪農青年女性会議 秋晴れの日 幼稚園訪問と牧場視察

北海道酪農青年女性会議は10月24日(木)に、理解醸成活動と秋季研修会を開催しました。理解醸成活動では江別市の幼稚園を訪問し、園児たちに酪農と牛乳のクイズを行いました。牛乳から出来る食べ物や牛が1日に出すミルクの量など、園児は元気に手を挙げて答えてくれました。クイズを通して酪農家の仕事や牛乳がどうやってできるのかを分かりやすく伝え、最後にこれからはたくさん牛乳を飲んでくれるように呼びかけると、大きな声で「はい!」と返事をしてくれました。

午後からは秋季研修会として江別市の(株)町村農場を視察し、牛舎のほかバイオガスなどの施設を取締役

社長の町村均氏に案内していただきました。臭気対策のため19年前に導入したバイオガス施設は、当時は事例も少なく担当者がつきっきりだったということですが、試行錯誤により徐々に導入の成果が現れ、今も現役で稼働し牧場の1/3程度の電力を賄っているということでした。均氏はそれらの説明に加えて、参加者からの質問にも丁寧に答えてくださいました。(株)町村農場は自社生乳で作る乳製品が人気で道内の他東京にも直営店があり、当日は少し寒い中でしたが、牧場に併設されたショップで美味しいソフトクリームをいただきました。(T.H)



東京
支所発龍峡酪農業協同組合
「家族親睦会」開催される

10月23日(水)に、龍峡酪農業協同組合（長野県飯田市、村松康広代表理事組合長）の家族親睦会が開催されました。

家族親睦会は、龍峡酪農業協同組合の組合員・家族・外国人実習生、組合職員、関係機関の親睦を深めるイベントで、今年もパターゴルフ大会と焼肉昼食会が催されました。

前日の降雨から一転し好天に恵まれたパターゴルフ

大会には20名が参加。短く刈り込まれた綺麗な芝生でしたが、前日の雨を含んだことから今年も各所で好プレー珍プレーが生まれ、多くの笑顔が見られました。

親睦昼食会は、南信州産の肉を組合職員お手製のタレで大いに食べ、今日のプレーの振り返りから日頃の仕事の話、酪農情報交換、各御家庭のお悩みなど大いに語り、懇親をより深めることができた1日となりました。
(N.T)



▲ 村松代表理事組合長挨拶



▲ 南アルプスを眺めながらのプレー



◀ 焼肉懇親会



▲ あ〜! OB!??



▲ ナイスイン!!

東京
支所発

「上伊那酪農祭」開催される

11月3日(日)に、長野県伊那市のみはらしファームにて、「酪農祭」が開催されました。

酪農祭は、長野県上伊那地域の酪農団体（南信酪農協、伊那酪農協、上伊那農協）青年部主催のイベントで、一般消費者との交流を通して地域酪農生産現場に対する理解醸成と牛乳・乳製品の消費拡大を図るイベントです。今年も開場30分前から開会を待ちわびる行列ができました。

牧草プールからくじの探し出し、塗り絵大会、手搾乳競争、ストローでの牛乳早飲み、ボールを牛のパ

ネルに入れるイベントなどがあり、900人の来場がありました。

“牛乳早飲み大会はまだエントリーに間に合いますか??” “大人も参加できますか?!”といった問い合わせも多く、大人も子供も楽しめるイベントとなりました。“昨年の酪農祭に参加して、今年も横浜から遊びに来ました～”と遠方からの来場者も。

本イベントが秋の長野県上伊那地域が賑やかになる酪農イベントとなっていることが伝わった1日となりました。(N.T)



◀ 動物ふれあい体験
仲良しヤギさん



▲ めがねストローで牛乳早飲み競争“乳Tube”大人の部



▲ 900名の来場、大いに賑わいました



▲ ロングストローで牛乳早飲み競争“乳Tube”親子混合戦



▲ 手搾乳競争！



▲ 大人も子供もじゃんけん大会



▲ 子どもたちの笑顔のため前日からの設営



大 阪
支所発大阪支所
「購買・畜産・指導担当者会議」を開催

令和元年 11 月 12 日(火)・13(水)、大阪支所の「令和元年度購買・畜産・指導担当者会議」が徳島県鳴門市「アオアヲナルトリドート」で地元徳島県酪農協をはじめ管内9会員から 15 名の担当者等、及び協力会社から 14 名の参加のもと開催されました。

【会議の部】

酪農情勢と本会購買事業の現状について岡田購買生産指導部長が説明を行い、その後大阪支所の購買・畜産・指導の事業の現況及び豪州産オーツヘイの情勢についてそれぞれ担当者から説明しました。

【研修会の部】

今年は、新たな取組みとして獣医師の資格も持ち、岡

山県職員に奉職したのちどうしても落語家になりたくて落語家になられた林家卯三郎さんを招き、第1部では「夢に向かってトボトボ」と題して獣医師から落語家になるまでのお話、第2部では本職の落語を聞かせてもらいました。

いつもは、参加者が真剣な顔で聞き入っている研修会ですが、今回は笑いが一杯ある研修会となりました。

【その後】

夜の懇親会は、地元の徳島県酪農協の原組合長の歓迎のお言葉と乾杯のご発声で始まり、阿波おどりをみんなで踊るなど、夜遅くまで懇親を深めつつ情報交換を行いました。

また、翌日はさわやかな日の出を拝んだあと、2 日目の研修へと出発しました。(K.I)

大 阪
支所発

「近畿酪農フェスタ2019」を開催

11 月 17 日(日)、絶好の行楽日和の中、大阪府吹田市の万博記念公園において、「近畿酪農フェスタ2019」が開催されました。ABC ラジオ祭り会場(ABC ラジオ主催)に昨年度を超える 6 万人の来場者が訪れ、近畿生乳販連でも酪農の理解醸成のためにブースを設け、多くの消費者がバター作り・搾乳などを体験したり、酪農クイズラリーに参加しました。

加えて、6 次化に取り組まれている酪農家の乳製

品販売モーモーマルシェブースでは、近畿の牧場の乳製品を PR・販売し、合計 11 牧場からの出店でそれぞれの牧場の取組みについて紹介されました。

また、今年で 7 回目となる、生乳品質・安心安全意識に優れた酪農家に贈られる「High Quality Milk Award」の表彰行事や受賞者(3 名)及びプレゼンターへのインタビュー収録やブースレポートにも多くの一般来場者が興味を持って聞き入っていました。(S.T)



福岡
支所発

「第7回九州連合ホルスタイン共進会」 ～第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄ブロック大会プレ大会～ 盛大に開催!

九州・沖縄地区酪農団体協議会（隈部洋会長）は、11月2日(土)、都城地域家畜市場（宮崎県都城市）において「第7回九州連合ホルスタイン共進会（農林水産祭参加行事）」が盛大に開催されました。

本共進会は全共開催年度の前年に、九州・沖縄地区での乳用牛の改良水準を見極め、次年の本大会に備えることを目的として過去6回開催されてきました。今回は来年に同会場で開催される「第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄ブロック大会」のプレ大会と位置付けられ会場設備や防疫・衛生対策等が確認されました。

また、大会前日の11月1日(金)には前夜祭が開催され、九州・沖縄地区酪農団体協議会役員、来賓の方々、各県の出品者や組合職員等の関係者が集い、九州・沖縄酪農の連帯と親睦を深めると共に大会に向けて鋭気を養いました。

共進会当日は穏やかに晴れ渡り、絶好の共進会日となりました。開会式では、九州・沖縄地区酪農団体協議会の隈部会長より「本共進会は、九州・沖縄の乳牛改良の優秀さを全国へ発信する場である。また、九州・沖縄の酪農生産者の団結の場となり、交流が深まれば幸いである。」と式辞の挨拶がありました。続いて、来賓の九州農政局、横井績局長より「本共進会が九州・沖縄の乳用牛の改良促進に大いに寄与するものと期待する。」と祝辞を賜りました。

本共進会の審査員は北海道ホルスタイン農業協同組合、審査部次長である田井道広氏が務め、九州・沖縄各県から選りすぐられた総数165頭が12部（未経産牛5部、経産牛7部）に分かれ、厳正な審査が行われました。

いよいよ全共開催まで1年を切り、気運が更に高まっております。
(M.M)

グランドチャンピオン 農林水産大臣賞

トレジャーランド ダンディー アウトウッド タリー

出品者：重見 宝弘（大分県 玖珠郡 玖珠町）

出品牛の父：メーブルダウンスアイ GW アウトウッド ET

出品牛の母：トレジャーランド ダンディー タリー

リザーブチャンピオン 農林水産省生産局長賞

キー スパークリング テラモツチ

出品者：松島 太一（熊本県 合志市）

出品牛の父：ジレット ティーウエーブ スパークリング ET

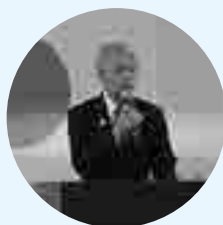
出品牛の母：キー ハーブ ジバニヤン



▲ 北海道ホルスタイン
農業協同組合
審査部次長
田井道広様



▲ 九州・沖縄地区
酪農団体協議会
隈部会長



▲ 前夜祭で来賓挨拶を
いただいた、宮崎県
農政水産部 部長
坊園正恒様



▲ 農林水産省 九州農政局
生産局長 横井績様



◀ 審査風景



◀ グランドチャンピオン
決定の瞬間



乳牛への油脂給与

～ エネルギー源だけではない ～

全酪連は2020年2月にミシガン州立大学から
アダム・ロック博士を招聘して、全国4会場にて全酪
連酪農セミナー2020を開催いたします。同博士は、
乳牛への脂肪酸給与に関する研究を行う一方、生
産現場にも深く関わっており、研究成果の生産現場
への普及に力を注がれています。今回のセミナーで
は、脂肪酸の乳牛への給与や乳牛の脂肪酸代謝の最
新の知見を基礎から応用まで幅広く紹介します。ワー
クショップでは、脂質給与に関する研究の最新情報
と乳脂肪低下のトラブル・シューティングなどについて
ご紹介します。ぜひご参加ください。

講師紹介

アダム・ロック 博士

ミシガン州立大学
農学部畜産学科 准教授



学歴

- 1997：英国・ノッティンガム大学卒業
- 2001：同大学院で博士号取得

職歴

- 2001-2003：ノッティンガム大学 博士研究員
- 2003-2006：コーネル大学 博士研究員
- 2006-2009：バーモント大学 助教授
- 2009-2014：ミシガン州立大学 助教授
- 2014- 現在：同大学 准教授
(業務内容：研究 6 割、普及 4 割)

研究分野

- 乳牛における脂肪酸の消化吸収と代謝
- 戦略的な油脂添加剤の使用
- 乳脂肪低下と乳脂肪生成のメカニズム
- 生産性や人への健康に影響する生理活性脂肪酸

酪農セミナー 2020

序章 イン트로ダクション

第1章 脂肪酸とは何か？

- ・脂肪酸基礎、脂肪酸とは？
- ・飼料中脂肪酸分析の重要性 他

第2章 乳牛の脂質消化と代謝

- ・ルーメン内代謝とその影響
- ・脂肪酸の消化吸収と生体利用 他

第3章 乳脂肪は如何にして合成されるか 我々は如何にしてそれを最大化させるか

- ・乳脂肪の原料と季節の影響
- ・乳脂肪低下の生物学
- ・乳脂肪低下のトラブルシューティング 他

第4章 脂肪酸添加の可能性

- ・市販脂肪酸サプリメントの製品例
- ・脂肪酸サプリメントの効果
- ・産褥牛への脂肪酸給与 他

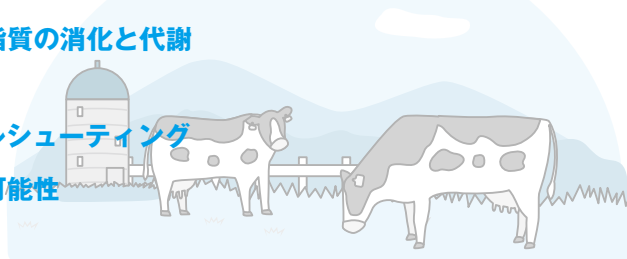
ワークショップ 2020

WS 1 乳牛における飼料中脂質の消化と代謝

WS 2 乳脂肪の合成 乳脂肪低下のトラブルシューティング

WS 3 脂肪サプリメントの可能性

WS 4 脂肪酸と産褥牛栄養



開催日時と場所

※各会場とも開会は 10:00、閉会は 16:00 の予定です。

2月25日(火)	熊本セミナー	菊南温泉 ユーベルホテル
2月26日(水)	岡山セミナー	岡山国際交流センター
2月28日(金)	札幌セミナー	ロイトン札幌
2月29日(土)	東京セミナー	ザ・グランドホール (品川グランド セントラルタワー内)
3月 1日(日)	東京ワークショップ	ザ・グランドホール (品川グランド セントラルタワー内)

参加費

1名様 ¥5,000 (対象者の方)

対象

酪農家・組合役職員・公的指導機関、
あるいは研究者・獣医師・コンサルタント
の方々

お申し込み・お問い合わせは、最寄の全酪連支所まで



農林業の『今』を知り、未来へつなげる

令和2年2月1日

2020年農林業センサス

次代につなぐ豊かな農林業のために、
農林業の今を知るための統計調査にご協力ください。
オンライン調査も実施しています。

農林業センサス 検索 農林水産省

2020年農林業センサス
にご協力ください



マスコット「つつー」

農林水産省により、我が国の農林業・農山村の実態を把握するため、
2020年農林業センサスが実施されます。

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。

調査結果は、「食料・農業・農村基本計画」及び「森林・林業基本計画」の策定、同計画に基づく施策

の企画・推進・評価、農林業に関する各種統計調査を効率的に実施するための母集団情報として活用されるだけでなく、地方交付税交付金、農業委員会の事務経費に係る交付金、協同農業普及事業交付金等の各種交付金の算定など、活用範囲は多岐に渡っています。

本調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

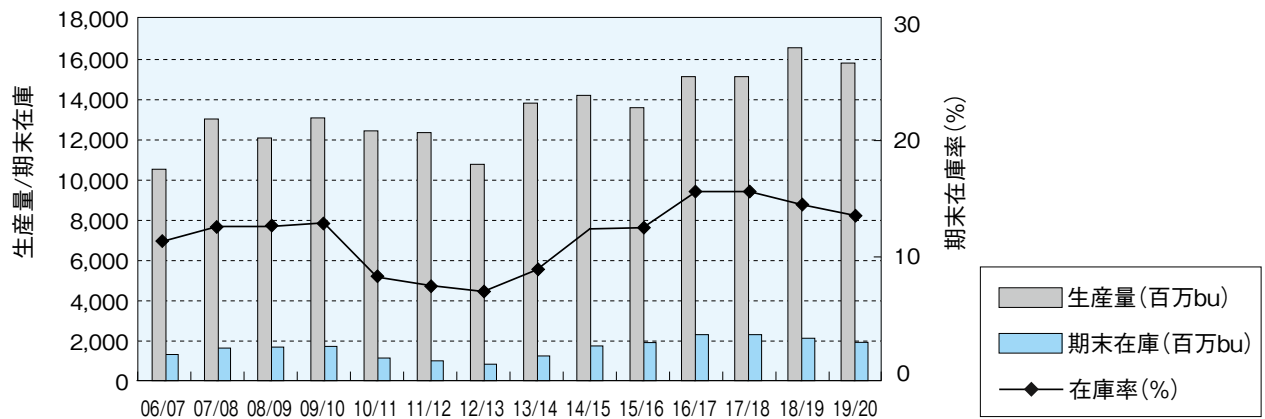
詳しくは下記URLを
ご確認ください

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2020cp/index.html>

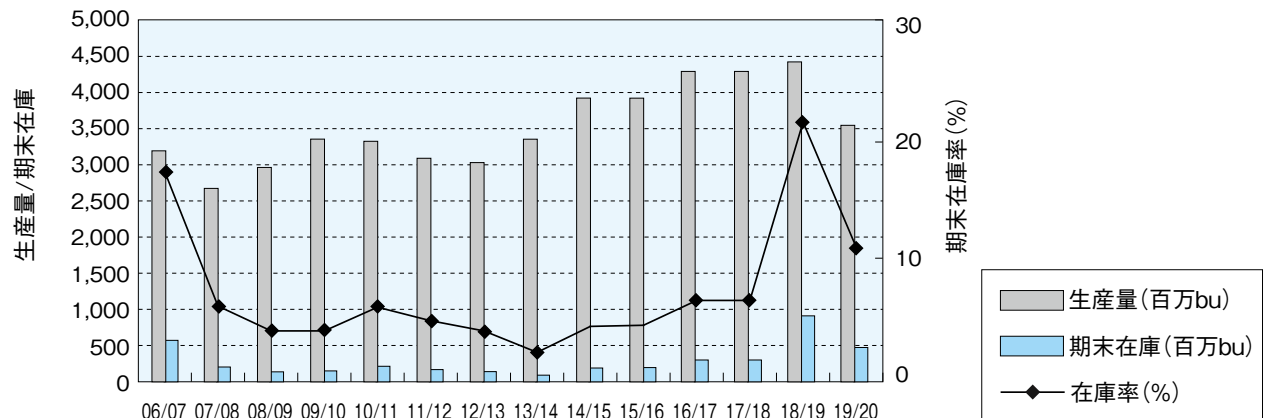


		18/19年産	19/20年産
11月8日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積 (百万エーカー)	89.1	89.9
	単 収 (ブッシェル/エーカー)	176.4	167.0
	生 産 量 (ブッシェル)	165 億 8,800 万	158 億 2,500 万
	需 要 量 (ブッシェル)	144 億 7,400 万	139 億 1,500 万
	期末在庫 (ブッシェル)	21 億 1,400 万	19 億 1,000 万
	在 庫 率	14.6%	13.7%
トウモロコシ 相場動向	10/10USDA発表で反落した直後に産地での冷え込み予想等により再度値を上げたシカゴ相場だったが、その後は遅れながらも収穫が順調に進んでいることから値位置をじわじわと下げ、11/8USDA発表でも、事前予想の期末在庫より米国産は上回り、全国では下回るという強弱が入り混じったことで、あまり値動きはなかった。供給量見通しの精度次第だが、軟化していくことも予想される。		
大豆粕相場動向	トランプ米大統領が米中の関税撤回合意を否定し、USDA需給報告も目新しさに欠けたことから直近では軟調に推移している。ブラジルでは北部地域を中心に一部州で未だ作付遅延がみられるものの先々の予報ではブラジル全土で降雨が見込まれ、その進捗が期待されており、南米の天候への様子見感からも相場は暫くはもみ合いが続くものと見込まれる。		
糖 類	【一般フスマ】 製粉メーカーの小麦挽砕量は引続き前年対比減少傾向にあり、ふすまの需給は年末年始に向けてやや逼迫することが見込まれる。		
	【グルテンフィード】 異性化糖販売が低調であったため、国産グルテンフィードとグルテンミールは非常に逼迫している。年明け後も各工場定期修繕に入るため2月いっぱいまで逼迫状況が続くものと懸念される。輸入物は中国産、米国産が中心となる。		
海上運賃	10月から11月にかけての海上運賃は軟調推移。中国国慶節明けから需要が待ちの姿勢に徹しており、ケープ（鉄鉱石）、パナマックス（石炭／穀物）全ての荷動きが停滞。慌てた投げ売りが出ての下落となった。現時点が底値と捉えた需要が買いに入り、直近は南米出し穀物や東南アジア出し石炭を中心とした成約が見受けられ、反発の兆しも見える。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和元年 11 月

北米コンテナ船 フレート	2020年1月から重油に含まれる硫黄に対する環境規制が始まります。多くの船社で10月からLow Sulphur Compliance Charge (LSFCC) の導入が通知されていましたが、具体的な上昇幅はまだ不透明です。このため、一部の船会社では当該チャージの導入を11月に降に延期しています。また、このところGRI(海上運賃一斉値上げ)の動きは限定的で、どの船社もLSFCCの導入を機に運賃の見直しを通知してくる可能性があります。
ビートパルプ	【米国産】 ミシガン州では生育期終盤の気温も高く適度な降雨もあったことから、単収の予想は上方修正されていますが、過去5年平均よりも下回る見込みです。作付面積は昨年比でわずかに減少しています。ミネソタ州及びノースダコタ州の北部から中部では収穫作業は60%程の進捗となっています。単収は過去5年平均と比べ同レベルかやや増加と見込んでいます。現状、圃場がぬかるみ作業ができない地域が多く、圃場が凍結し収穫ができなくなる11月中旬頃までの進捗が今後の生産量増減を左右しそうです。ミネソタ州中南部では10月下旬にまとまった降雨があり、その影響で収穫作業が中断しており、現在のところ収穫進捗は80%程となっています。単収は例年並みで作付面積は昨年よりもやや減少しています。
アルファルファ	【ワシントン州】 主産地であるコロンビアベースンでは、2019年産のアルファルファの収穫は終了しています。4番刈は断続的な雨の影響で、約60%が雨当たりの被害を受けたとされています。このため雨当たりでない安価なものは極めて少なく、上級品の発生も限定的です。4番刈の収穫期前後、産地では濃い露が発生したため多くの圃場で変色(ブリーチ)が散見されています。4番刈も例年に比べ不調に終わったため、今年は総じて上級品の供給余力には限りがあるとの見方がさらに強まっており、端境期に向け産地相場は強気に推移していく可能性が高まっています。
	【オレゴン州】 オレゴン州南部クラマスフォールズでは、4番刈が10月中旬で終了しています。3番刈は、大きな降雨被害は受けていないものの、濃い霧の影響により約50%で変色(ブリーチ)が見られますが、その他の品質に関しては概ね例年並みとなっています。4番刈の雨当たりは約25%と少なく、上級品が多く発生しましたが、米国内からの需要が強く現地では高値で取引されています。
	【カリフォルニア州】 カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、一部の圃場で8番刈を収穫中です。産地の天候は徐々に冷涼になっており、アルファルファの成分も回復傾向にありますが、圃場によっては雑草の混入が見られます。今後、当地では中国向け需要の中心である色が綺麗で成分の良い上級品の発生は限定的であると予想されており、年明け以降、上級品の在庫は枯渇する恐れがあると言われています。中国向けの追加関税の撤回が決定されて以降、中国を中心に取引しているサプライヤーは積極的に買付を試みており、さらには米国内の乳価も回復しているため、産地価格は上昇傾向にあります。
チモシー	【米国産】 19年産のワシントン州におけるチモシーの生産は終了しています。2番刈では殆どの圃場で降雨による被害を受けており、上級品の発生率は10%以下と非常に限定的となっています。このため乳牛向けだけではなく、馬向け・ペット向けからの引き合いも強く上級品は高値で取引されています。
	【カナダ産】 アルバータ州南部レスブリッジ地区では現在2番刈が終盤を迎えています。降雪・吹雪の影響もあり、収穫作業は遅れています。降雪や不安定な天候の影響で圃場の乾燥調整に時間を要していることから、今後収穫されるものの多くは低級品になると見込まれています。クレモナ地区の収穫は終了しています。収穫期序盤は天候に恵まれ上級品が多く生産されましたが、その後は不安定な天候の影響で収穫適期を逃したものが多く、中級品以下の発生が中心となりました。産地相場については、US産チモシーの軟化とカナダ国内における自給粗飼料の状況も改善されたことからシーズンの序盤では弱含みの傾向にありました。しかしながら、上級品の発生が期待よりも少なく、需給にやや逼迫感が出てきていることから、発生量の少ない上級品の価格は強含みに推移し、発生の中心となっている中～低級品との価格差は昨年よりも開きつつあります。
スーダングラス	19年産の輸出向けスーダングラスの生産はほぼ終了しています。10月15日時点の作付面積は前年同期比72%の約5,600エーカーとなっています。チモシー相場の軟化を受け、スーダンの相場も概ね旧穀比弱含みで推移したことから一部の生産農家の生産意欲が減退、1番刈でスーダンの生産を中止し、2番刈の生産を行わない圃場が予想以上に増えました。加えて近隣の肥育農家からの需要も堅調で、このため産地における低級品の在庫は例年以上に少なくなっています。
クレイグラス	クレインは全酪連の登録商標です。 産地インペリアルバレーでは5番刈の収穫作業が終了し、一部の圃場では6番刈の収穫作業が行われています。10月15日時点の作付面積は前年同期比111%となっています。生産量は増加しているものの、日本および韓国からの需要は引き続き堅調なため、産地相場については大きな変動なく昨年に比べ高値で推移しています。
ストロー類	主産地のオレゴン州ウィラメットバレーでは各種ストローの収穫は終了しています。今年は総じて雨当たりのない良品の発生は限定的となりました。産地ではこれらの良品は高値で取引されており、今後の価格に反映してくる考えられます。
オーツヘイ	【豪州産】 2019年産オーツヘイの収穫は中～終盤を迎えており、多くの圃場でベールング作業が進んでいるところです。
	【西豪州産】 収穫量は当初の予想より悪く、生育期の降水量が少なかった北部では例年の50%の単収(2-3t/ha)、南部では例年の60%(3t/ha)となっています。旧穀からの繰越在庫が少なかったことに加え、予想よりも収穫量が少ない地域があったことから、各サプライヤーは序盤から積極的に原料草の買付を行っている状況です。このため、当初は軟化が予想されていた産地相場ですが、現時点では昨年と同じレベルまで近づきつつあり、今後はさらに上昇し昨年の価格を上回る可能性も出てきました。
	【南豪州産】 南豪州でも収穫が終了し、ベールング作業は60%程度進んでいる状況です。10月下旬は天候にも恵まれ、ベールングに適した気候となりました。これまでのところ、分析結果も見た目も非常に良好で上級品が多く発生しています。収量は例年の95%程度と予想されています。
	【東豪州産】 単収は例年並み(5t/ha)と予想されており、一部の地域ではそれ以上を見込んでいます。これまでのところ、見た目も分析も良好で上級品が多く発生すると思われます。
	豪州全体では総じて現時点まで収穫期間の天候に恵まれ、見た目成分は上級品レベルのものが多く発生している状況です。一方、中～低級品の発生は少なく、年間通じての供給余力がないため、オーツヘイ単体での出荷ではなく、オーツヘイの上級品とウィートストローをブレンドしたものを代替として使用せざるを得ない可能性が高まっています。新穀のオーツヘイの生産量は昨年よりも増えることが期待されており、新穀価格は軟化すると予想されていましたが、生産量が予想よりも少なくなりそうな状況に加え、新穀直後の輸出向け需要が堅調であることから、当初の期待ほど産地相場が軟化せず旧穀と変わらない価格帯になる可能性も出てきました。



乳牛産地情報

令和元年 12月1日現在

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇐……やや弱含み ↓……弱含み

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	33~40	⇐	札幌管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で101.5%、累計で98.3%、苫小牧管内月計で99.1%、累計で98.2%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2月~3月上旬分娩が中心となります。例年12月は初妊牛販売向けの資源頭数は多くなりますが、初妊牛・育成牛ともに品質によるバラツキは大きくなるものと思われます。初妊牛の品質、腹条件の違いにより相場の動きも異なりますが、中クラス以上につきましては横這いで取引されるものと思われ、育成牛も同様に月齢、品質による価格差は大きくなりますが、中クラス以上につきましては横這いでの取引状況になるものと思われます。
	初妊牛	72~80	→	
	経産牛	50~60	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	35~40	→	根釧管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.7%、累計で100.3%、中標津管内月計で102.7%、累計で102.9%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2月~3月分娩が中心となります。11月の管内乳牛市場は出場頭数の増加が見られ、相場も軟調な動きを見せました。この資源状況の増加は今後も続くものと思われ、12月の庭先購買についても、前月同様に軟調な展開が予想されます。初妊牛価格の下落に伴い、経産牛相場も軟調な動きを見せてくるものと思われますが、このような相場の中でも、上クラスは一定の高値を保っています。今後とも庭先選畜を中心に牛の確保に努めて参ります。初妊牛導入のご注文がございましたら、お早目のご連絡をお待ちしております。
	初妊牛	65~75	↓	
	経産牛	45~55	⇐	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	35~40	→	帯広管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で102.6%、累計で103.7%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2~3月分娩がメインとなります。道内酪農家の中には、年末に向けて販売をする農家も多く、出品頭数は増加するものと思われますので、例年並みの頭数は確保できる状況となっております。早くも春産みの腹も出回るようになりますので、年明けの相場を意識したものとなり、価格は堅調に推移するものと思われます。年末は輸送の積み合わせ等が混雑いたしますので、1車単位にならない注文はお早目にご連絡を頂きます様、お願い致します。
	初妊牛	70~80	↓	
	経産牛	50~60	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	35~40	→	道北管内の11月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.7%、累計で99.9%、北見管内では月計で99.8%、累計で101.4%の実績となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、2月中旬~3月の分娩がメインとなります。資源頭数は増えており、年内資金確保のために販売をする農家も増えると思われますが、中クラス以上は都府県・道内ともに需要あるため価格は横這いで動くと思われます。育成牛・経産牛も需要が堅調のため、横這いで推移すると思われます。年末は家畜輸送が混みあう時期でもあるため、注文の際は早めにご連絡頂きます様、お願い致します。
	初妊牛	70~80	⇐	
	経産牛	45~53	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	35~40	→	道内の11月中旬までの生乳生産量前年比は101.8%、累計で102.0%の実績となっております。各管内とも冬を感じられる季節となり、気温もマイナスを記録する時期となっております。12月の初妊牛動向といたしまして、3月の分娩中心となりますが、前月に引き続き、資源豊富による影響もあり初妊牛相場が軟調に推移しております。牛による価格差が出ており、スソ物は相場を下げ、上・中クラスは安定した相場を維持している状況です。今後は、春分娩に入ってくるため、相場が持ち直す可能性もありますので、導入予定がございましたら、お早目のご相談・ご注文をお願い致します。弊社と致しましては、相場動向に注視しながら庭先選畜購買を中心に安定的に搾乳素牛を供給していきますので宜しくお願い致します。
	初妊牛	70~80	↓	
	経産牛	45~53	⇐	

今月の表紙

今月の表紙は「第10回酪農いきいきフォトコンテスト」(第48回全国大会にて開催)で応募頂いた作品『ふたりの世界におじゃまかしら?』(山口県 前原真智子氏 撮影)です。



編集後記

- 全酪連会報も今年最終号となりました。多くの方々のご支援とご協力の賜物です。ありがとうございました。来年もよろしく願い申し上げます。



令和元年12月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 12月号 No.651

- 編集・発行人 戸辺誠司
- 発行 全国酪農協同組合連合会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

全酪連会報 総目次 (2019.1～12月号)

●1月号	新年の御挨拶 全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長 砂金甚太郎 2 農林水産省生産局長 枝元真徹 4 酪農とのかけはし／伊藤有輝さん 6 酪農トピックス／酪農生産研究会主催「第2回会員職員研修会」を開催!(名古屋)ほか 8 酪農業に対する理解醸成活動報告 後編 11 日本酪農見て歩紀／西館牧場 岩手県二戸郡一戸町 12 酪農連本所及び子会社等移転のお知らせ 15 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(平成31年1月) 16 広告／全酪連 酪農セミナー2019・ワークショップ2019 開催のご案内 18 今月の表紙／小さなリードマン 19 今月のこどもギャラリー／筑前町中牟田小学校(九州)4年 湯浅未来さん 20
------	--

●2月号	若手後継者の本音／池田雄太さん 2 平成30年度 全酪連会員職員研修会 4 日本酪農見て歩紀／(有)エルファーム・サカキバラ知多農場 株エルファーム・サカキバラ 富士農場 6 酪農トピックス／2019年南信酪農業協同組合「新春交流会」 開催される(東京)ほか 10 酪農業に対する理解醸成活動報告 後編その2 12 平成31年「各地域酪農青年女性会議酪農発表大会」開催のご案内 13 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(平成31年2月) 14 人事異動 16 今月の表紙／初めまして よろしくね! 17 今月のこどもギャラリー／寄居町立折原小学校(関甲信)3年 若林沙来さん 18
------	---

●3月号	酪農とのかけはし／沖山恒明さん、新出昭吾さん 2 企画管理部より／平成30年度 決算に向けて 4 日本酪農見て歩紀／大久保牧場 千葉県旭市 8 酪農トピックス／北海道清水町、酪農発祥120年未来に向けたシンポジウムを 開催(札幌)ほか 11 平成31年「各地域酪農青年女性会議酪農発表大会」開催のご案内 11 酪政連活動報告 16 「らくのこどもギャラリー」／酪農いきいきフォトコンテスト」作品募集のお知らせ 17 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(平成31年3月) 18 今月の表紙／僕の特等席! 20 今月のこどもギャラリー／福島市立福島第一小学校(東北)4年 新田ひよりさん 21 広告／「第48回 全国酪農青年女性酪農発表大会」開催のお知らせ(in鹿児島) 22
------	---

●4月号	若手後継者の本音／住元誠さん 2 第70年度(平成31年度)事業計画(案) 4 平成30年度 全酪連監事・役員職員研修会 前編 8 日本酪農見て歩紀／(有)ミヤハラ牧場 熊本県球磨郡 15 酪農トピックス／「第48回中部酪農青年酪農発表大会」開催 近藤貴幹さん(愛知県)、北村克己さん(愛知県)が最優秀賞受賞!(名古屋)ほか 18 総務部より／本所及び東京支所移転完了のお知らせ 21 新入職員入会式 21 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(平成31年4月) 22 今月の表紙／「告発」本日給与されたサイレーンがカビだらけだったのよ 24 今月のこどもギャラリー／社会福祉法人 徳真会ほくと保育園(東北)6歳 桑原龍飛さん 25 広告／「第48回 全国酪農青年女性酪農発表大会」開催のお知らせ(in鹿児島) 26
------	--

●5月号	酪農とのかけはし／南風ミルちゃん 2 平成30年度 全酪連監事・役員職員研修会 後編 4 日本酪農見て歩紀／庄司牧場 三重県松阪市 16 酪農トピックス／期待の女性2名が全国へ!! ～「第47回北海道酪農経営発表大会」開催～(札幌)ほか 19 広告／全酪連のスモークチーズがおつまみで提供されます! 22 酪政連活動報告 23 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年5月) 24 広告／消費税率引き上げ前後の値上げ・値下げ 26 今月の表紙／起きないと妬めるぞ 27 今月のこどもギャラリー／北陽幼稚園(北海道)5歳 渡邊航生さん 28
------	---

●6月号	若手後継者の本音／磯 原一さん 2 第48回 全国酪農青年女性酪農発表大会 発表者決定!! 4 日本酪農見て歩紀／和田牧場 広島県庄原市東城町 7 酪農トピックス／「第48回 九州酪農青年女性酪農発表大会」開催される(福岡) 10 使用済み農業用プラスチック資源循環の取組について 11 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年6月) 12 酪農部より／全酪連ギフト商品について 14 広告／父の日には牛乳を贈ろう! 17 今月の表紙／「ねえ～あれを見て!」※写真がリアル!目の下の模様まで目にみえます 18 今月のこどもギャラリー／赤磐市立山陽小学校(西日本)6年 大森林吾さん 19 広告／「第48回 全国酪農青年女性酪農発表大会」開催のお知らせ(in鹿児島) 20
------	---

●7月号	酪農とのかけはし／近藤大祐さん 2 父の日には牛乳を贈ろう! 前編 4 第46回 らくのこどもギャラリー 入賞作品紹介!! 10 購買生産指導部より／DMSシステム 平成30年集計結果 14 酪農部より／狭山工場紹介 16 日本酪農見て歩紀／比嘉牧場 沖縄県豊見城市 17 酪農トピックス／長野県「酪農青年女性会議総会」開催される(東京)ほか 20 酪政連活動報告 23 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年7月) 24 栄えある春の叙勲・褒章 26 今月の表紙／魔法のレシピで(添加物)だんご作り 27 今月のこどもギャラリー／蓬萊保育園(九州)5歳 田尻琉太朗さん 28
------	--

●8月号	若手後継者の本音／増田一真さん 2 第70年度(令和元年度)通常総会開催される 前編 4 父の日には牛乳を贈ろう! 後編 6 第48回 全国酪農青年女性酪農発表大会① 9 購買生産指導部より／ニューヨーク州出張報告 16 酪農部より／北福岡工場紹介 20 日本酪農見て歩紀／Misomi牧場 福井県若狭町 21 酪農トピックス／北海道酪農女が取り組む「食育」を高校生がインタビュー! (札幌)ほか 24 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年8月) 26 人事異動 28 今月の表紙／私の大きな友達 29 今月のこどもギャラリー／那須塩原市立青木小学校(関甲信)5年 平山はるとさん 30
------	---

●9月号	酪農とのかけはし／濱田浩平さん 2 第70年度(令和元年度)通常総会開催される 後編 4 第48回 全国酪農青年女性酪農発表大会② 7 監査室より／改正農協法により、監事監査規程11年ぶりの全面改正、 そして、全中監査から会計監査人監査へ移行 10 日本酪農見て歩紀／佐藤牧場 北海道中川郡幕別町 12 酪農トピックス／全酪連名古屋支所 主催 「知多牛肉牛部会 系統飼料知多牛枝肉研究会」を盛大に開催!(名古屋)ほか 15 広告／DMSシステム 16 酪政連活動報告 17 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年9月) 18 広告／おいしいスモークチーズ 20 今月の表紙／僕にもちょうだい! 21 今月のこどもギャラリー／吉祥女子中学校(関甲信)3年 山口紗奈さん 22
------	--

●10月号	若手後継者の本音／永松克美さん 2 日本酪農見て歩紀／佐藤牧場 山形県上市市 5 酪農トピックス／酪農生産研究会獣医師部会主催「平成30年度通常総会及び 令和元年度第1回研究会」を開催!(名古屋)ほか 8 広告／DMSシステム 10 広告／第12回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト概要 11 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年10月) 12 酪農業に対する理解を深めてもらうべく、PR活動を行います! 14 今月の表紙／同じポーズで休憩 15 今月のこどもギャラリー／岡崎市立豊富小学校(中部)3年 鈴木深友さん 16
-------	---

●11月号	酪農とのかけはし／古閑敬さん 2 ～みんなで国産の牛乳を応援しよう!～ 全国の酪農家による「理解醸成活動」を開催 4 日本酪農見て歩紀／池田牧場 神奈川県海老名市 6 酪農トピックス／「2019全道共進会」中止を乗り越え盛大に開催!(札幌)ほか 8 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年11月) 12 酪農部より／全酪連ギフト商品について 14 今月の表紙／さあボクの番だ!...「まって、いまあげるから♡」 17 今月のこどもギャラリー／美馬市立岩倉小学校(西日本)6年 古川日菜さん 18
-------	--

●12月号	若手後継者の本音／星野紘希さん 2 第27回 ロイヤル・ウィンターフェア視察と米国・カナダ酪農視察研修 4 酪農業に対する理解醸成活動報告 前編 9 酪農部より／令和元年度 製造技術体験発表会・研修会が開催されました! 13 日本酪農見て歩紀／前川正樹牧場 香川県三豊市 14 酪農トピックス／北海道酪農青年女性会議秋晴れの日 幼稚園訪問と牧場視察(札幌)ほか 17 広告／全酪連 酪農セミナー2020・ワークショップ2020 開催のご案内 22 広告／2020年農林業センサスにご協力ください 23 原料情勢・輸入粗飼料の情勢(令和元年12月) 24 今月の表紙／ふたりの世界におじゃまかしら? 26 総目次 27 今月のこどもギャラリー／那須塩原市立青木小学校(関甲信)5年 森本望月さん 28
-------	---

今月の

らくらのうこどもギャラリー

入賞作品紹介



牧場

那須塩原市立青木小学校(関甲信)5年 森本 望月

今月の入賞作品は…

那須塩原市立青木小学校(関甲信)5年の森本 望月さんの作品です。

草を食む牛さんを鋭い観察眼で丁寧に描いた作品。画面両脇にピンクの柱を描き、その影を逆光気味に利用して構図に奥行きを出しています。計算された構図は臨場感のある現場を見事に再現しています。描写力、構成力、色彩感覚どれも素晴らしい才能あふれる作品です。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第46回らくのうこどもギャラリー」で全国683点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議